

橋北地区と防災

東新町第二自治会長 南川 邦広 (みなみかわ くにひろ)

第一市民防災隊として約27年、隊長を7年務めさせていただきました。地区の防災組織連絡協議会の副会長として事務局を担当し2年が過ぎようとしています。その間、地区の皆さんの協力を得て、コロナ禍での避難所運営や橋北地区で発行した防災カルテの学習を兼ねた避難訓練を行ってまいりました。毎回、たくさんの方の参加を得て感謝しております。

防災・減災は一朝一夕に出来ないことは皆さんもご存じのことです。繰り返しの訓練がいざという時に役に立つものと思っています。来年度以降は「橋北から一人の犠牲者も出さない」とのテーマを掲げ地域防災に取り組んでいくことを事務局で検討しています。大変大きなテーマなので出来ることから進めていこうと考えています。

自治会長になって10年目を迎えますが、皆様とともに住み良い橋北を目指し頑張りたいと思います。

川原町第二自治会長

服部浩明 (はっとり ひろあき)

川原町第二自治会長は、任期に合わせて、2年ごとに選挙で選出しています。自治会の運営では、役員を順番性にするなど、おかげさま・お互いさまの気持ちで仲良くやっていただいています。

ゴミ出しについても、各家庭の方々がルールを守って出されているので、町内は美しく整えられています。

今年は、万が一の災害・断水に備え、緊急簡易トイレを各戸配布させていただきました。町独自の防災倉庫や防犯カメラの設置など課題はありますが、これからも町の皆様同士の繋がりを大切にして、安心と安全を守るべく日々努めていきたいと思ひます。

午起1・2丁目自治会長

濱地栄一 (はまじ えいいち)

平素は地区の皆さんに自治会への協力をお願いしており、ありがとうございます。

災害はいつ、どこで発生するのか分からず一番怖いことです。今後何十年の間には起こると言われる東海・東南海地震。大きな地震が発生した場合、堤防等の決壊が生じる恐れがあります。また、津波が発生した場合、午起地区は海拔が低い所なので、水没の危険があります。

警報等が出た場合、家族で避難経路、避難場所などをよく話し合い、柔軟に対応できるように心がけていただいていると思いますが、もし大きな災害が発生した場合は、どう対処したら良いか戸惑うことになります。

向こう三軒両隣と言いますが、時間、体力のある方は助け合う。でも、まずは自分の身は自分で守ることを最優先に考えて行動していただきたいです。

花壇
橋北
通りの

いつもきれいな花を
見せていただき
ありがとうございます。

東新町第四自治会長

福森辰明 (ふくもり たつあき)

自治会長歴はそろそろ10年になろうか。20代後半より消防団員もやっています。他の団員との一緒に訓練・消防活動や色々な付き合いのおかげで、彼らから『若さ』をもらっています。『型は古いがポンコツじゃない』と思っています。

好きな言葉は【一期一会】人との出会いと付き合いを大切にしたいと思ひます。

高齢化社会という状況はどの地区も同じですが、少しずつ若い世代の家族が増えてきています。高齢世代と若い世代が上手く付き合っていける自治会活動ができれば幸いです。

東新町第一自治会長 伊藤 勝 (いとう まさる)

橋北地区の皆様、日頃自治会活動にご支援、ご協力を賜り厚く感謝いたします。

2013年4月に自治会長に就いてからこの3月末で**丸9年**となりました。

9年間の大きな出来事は、「新型コロナウイルス」の発生です。未知のウイルスと言われ人から人へと感染し、重症化すると死に至る場合もあり大変恐ろしい病です。そのため2020東京オリンピックも1年延期となりました。また、世界経済にも大きな打撃を与えました。

当然、我が自治会活動にも大きな影響が出ました。「密閉」「密集」そして「密接」の3密を避ける**工夫をして会議などを開催**しました。しかし、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出に伴い、計画した事業のほとんどが中止となりました。

コロナ禍で唯一できた活動は、**点検業務**です。防災備蓄用品の数量確認、そして「消火器」等の設置状況点検です。又、老朽化した「**ゴミステーション**」の**補修修理**を地域の方の協力で進めることが出来ました。

新型コロナウイルスの終息も不透明で、益々自治会活動も難しくなっています。

皆様方により一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

高浜・高浜新町自治会の森 敏夫 (もり としお) です。

高浜には毘沙門神社が祭られ月の初めはお参りをしています。

自治会長になり、令和2年11月で**10年の自治会表彰**を頂きました。

その間、地域の皆様や役員の方々に助けられ自治会活動をしてきました。改めて地域の皆様に感謝いたします。

体の方は**毎日30分程度のウォーキング**で足腰の力をつけるようにガンバっています。今後ともよろしくお願いいたします。



他地区の取り組み紹介

日永地区 梅ヶ丘自治会のデジタル化

昨年の6月に中日新聞に掲載された「日永地区 梅ヶ丘自治会活動のデジタル化」

総務省のホームページでも紹介されています。主なものは次のことです。

- ①外部委託による「**自治会費の口座引き落としやクレジットカード払い**」
- ②グループ**LINE**で情報発信、**アンケート実施**
- ③**ウェブ会議** (zoom役員会・総会)



○地域の若い世代が、仕事や育児とともに自治会活動を担っていけるようにとの思いでデジタル化を推進している。

<編集後記> 『住めば都から住むからには都へ』

これは、「橋北地区都市計画マスタープラン」策定の原型となった「橋北まちづくり構想提言書」に出てくる一節です。橋北地区の皆様が、この町で生活できて良かったと思っていただけるよう、これからも「仲良く、元気よく」住み良いまちづくりに努めていきたいと思えます。
(文化広報部長 服部浩明)